

ヘルプマーク

ヘルプマークとは援助や配慮を必要としている方々が周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることができるマークです。義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方など、配慮が必要な方に下記の配布場所でマークを配布しています。

使い方

カバンなどにつけられます



配布場所

- 障害福祉課、各地域活動支援センター（ヘルプカード配布場所参照）
- 都営地下鉄各駅（押上駅、目黒駅、白金台駅、白金高輪駅、新宿線新宿駅を除く）駅務室
- 都営バス各営業所
- 多摩モノレール（多摩センター駅、中央大学・明星大学駅、高幡不動駅、立川南駅、立川北駅、玉川上水駅、上北台駅）駅務室（一部時間帯を除く）
- 東京都心身障害者福祉センター（多摩支所を含む）
- 「多摩総合医療センター」「神経病院」「小児総合医療センター」などの都立病院、「東京都がん検診センター」などの公益財団法人東京都保健医療公社の病院 等

ヘルプマークを見かけたら

■電車・バスの中で、席をお譲りください。

外見では健康に見えても、疲れやすかったり、つり革につかまり続けるなどの同じ姿勢を保つことが困難な方がいます。また、外見からは分からないため、優先席に座っていると不審な目で見られ、ストレスを受けることがあります。

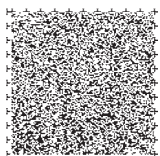
■駅や商業施設等で、声をかけるなどの配慮をお願いします。

交通機関の事故等、突発的なできごとに対して臨機応変に対応することが困難な方がいます。

■災害時は、安全に避難するための支援をお願いします。

視覚障害者や聴覚障害者等の状況把握が難しい方、肢体不自由者等の自力での迅速な避難が困難な方がいます。

ヘルプマーク普及の取組



東京都では、都営地下鉄、都営バス、都電荒川線、日暮里・舎人ライナー、ゆりかもめ、多摩モノレールで優先席にヘルプマークのステッカーを標示しています。国分寺市においても、ぶんバスの優先席にステッカーを標示しており、各自治体や民間企業での取組が広がっています。